授業科目　身体障害作業療法学Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	作業
岩崎テル子、大山峰生	開講時期	後期	必修･選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【一般目標：ＧＩＯ】

作業療法の対象となる身体障害者の身心機能・身体構造・活動制限・参加制約を理解し、
その治療理論及び治療・指導・援助の手技・手段の概要を学ぶ。

【行動目標：ＳＢＯ】

1．身体障害作業療法の守備範囲について説明できる。
2．心身機能および身体構造に関する基本的障害について説明できる。
3．身体障害に関して国際障害分類（ＩＣＦ）が適用できる。
4．中枢神経疾患と末梢神経疾患の障害像の違いが説明できる。
5．代表的疾患に関する作業療法の概要を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法･学習課題又は備考･担当教員
1	身体障害作業療法の守備範囲（対象疾患と障害の種類及び治療対象となる障害）	1	講義
2	心身機能および身体構造に関する基本的障害について説明できる。	2	講義
3	身体障害に関して国際障害分類（ＩＣＦ）が適用できる。	3	講義
4	中枢神経麻痺と末梢神経麻痺の障害像の違い。	4	講義
5	脳血管障害：陽性徴候（共同運動、連合反応、姿勢反応、異常筋緊張）、陰性徴候（平衡反応）	5	講義
6	脳血管障害：回復過程（問題別対応）	5	講義
7	脳血管障害：回復過程に応じた治療	5	講義
8	脳血管障害：回復過程に応じた治療、ADL制限、家庭生活・社会生活上の制約	5	講義
9	脊髄損傷の作業療法：臨床像、予後、評価法職業復帰	5	講義
10	脊髄損傷：損傷レベルに応じた治療・指導	5	講義
11	脊髄損傷：社会参加の促進（家庭生活、職業復帰、社会活動参加上の問題解決）	5	講義
12	末梢神経損傷：臨床像、評価法、治療･指導･援助	5	講義
13	末梢神経損傷：臨床像、評価法、治療･指導･援助	5	講義
14	慢性関節リウマチ：臨床像、評価法、治療指導援助の概要	5	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年･価格･その他＞
教科書	目でみる脳卒中リハビリテーション	上田　敏	東京大学出版会	1981、3200円
参考書	①作業ーその治療的応用、	日本作業療法士協会、	協同医書出版社、	1985,　8500円
	②作業治療学１身体障害	日本作業療法士協会	協同医書出版	1999、　3500円
その他の資料				

【評価方法】
出席点：５％
Quiz　：10％
期末試験：85％

【履修上の留意点】
SBOを達成出来るよう常に努力する。